

シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

- △警告 - 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △注意 - 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

- △注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。
- △注意 本製品は荷物用の積載キャリアです。次の物は積載しないでください。
[スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィンボール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック]
- △注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。又積載物がキャリアからはみ出す場合は、はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

品番	積載物の制限(単位=mm)		
	長さ	幅	高さ
SA-30	2630	1150	600



取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。
→締付け部にユルミがあると、**思わぬ脱落事故を起こします。**
- △警告 初期ユルミが発生しますので、**初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。**
- △警告 キャリアの装着時は特に**法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。**
- △警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をキャリアに固定する際は、脚部、を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください
→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 キャリア装着時にはラジオアンテナは伸ばさないでください。やむをえず伸ばす場合はキャリアに当たらない所で留めるか、異音が出ないような処置を行ってください。
→アンテナがキャリアに干渉し異音が発生します。
- △注意 キャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。

事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

- (1) 事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
- (2) 損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
- (3) 事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

SAシリーズ 取扱い説明書

品番 / SA-30 パートナー・エアウェイブ 専用

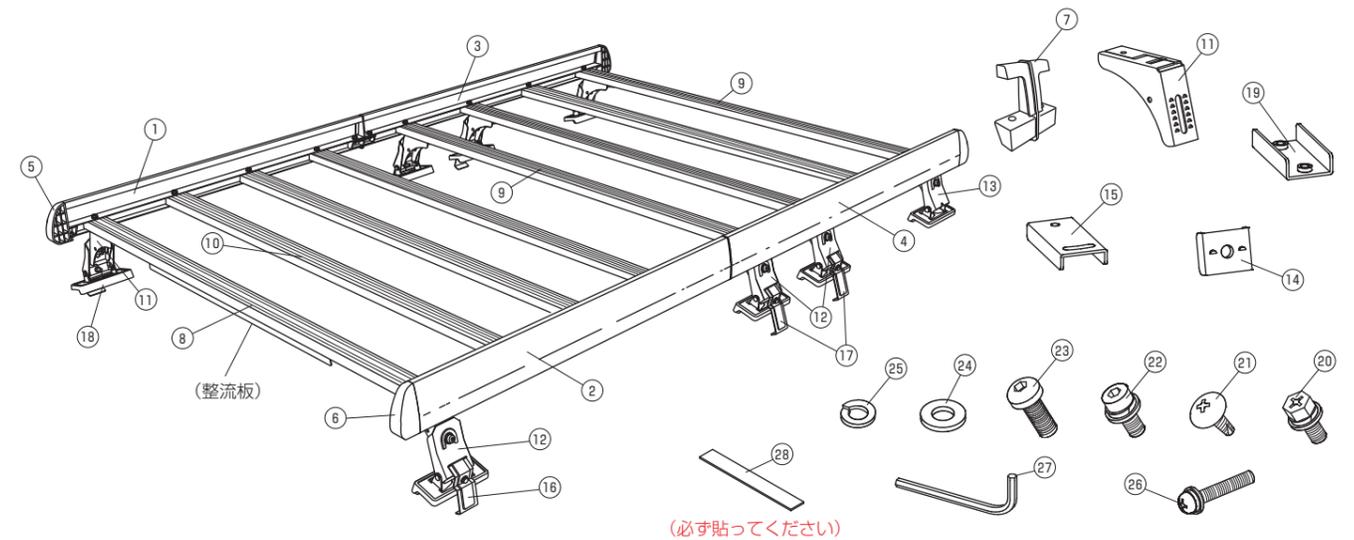
この度は、ロッキールーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

ご使用前に

- △警告 本製品は、ホンダ・パートナー(GJ3・4系)・エアウェイブ(GJ1・2系)専用キャリアになります。他の車両には取付けないでください。
- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
「例」 部品類の穴あけ加工
市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
積載面を合板等で覆う
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- △注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。
又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。
裏面、「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム短(前/右)	1	⑧	脚フレーム(整流板付)	1	⑮	ステープレート	8	⑳	キャップボルトセットM6	16
②	サイドフレーム短(前/左)	1	⑨	脚フレーム	3	⑯	前用取付フック	2	㉑	キャップボルトM8	8
③	サイドフレーム長(後/右)	1	⑩	荷台フレーム	4	⑰	中間用取付フック	4	㉒	平座金 M8	8
④	サイドフレーム長(後/左)	1	⑪	脚ステー	8	⑱	ベースゴム(TYPE2)	8	㉓	パネ座金 M8	8
⑤	先端キャップ (R)	2	⑫	前・中間用脚セット	6	⑲	ナットプレート	8	㉔	⊕丸ネジセット M6	6
⑥	先端キャップ (L)	2	⑬	後用脚セット	2	⑳	六角ボルトセットM6	20	㉕	L型レンチ	1
⑦	中間ジョイント	2	⑭	ステーナット	8	㉑	タッピングビス5ミリ	4	㉖	塩ビテープ	8

組立て方法

- 1 ⑫前・中間用脚セット、⑬後用脚セットに⑮ベースゴムの凸部の向きに注意して組付け〔図-1〕、⑪脚ステーと⑫⑬脚セットを下の図の位置に合わせて仮組付けをします。〔図-2〕
 ※車両に取付ける際に角度調整を行う為、必ず⑳キャップボルトM8は仮組付けの状態にしてください。

図-1

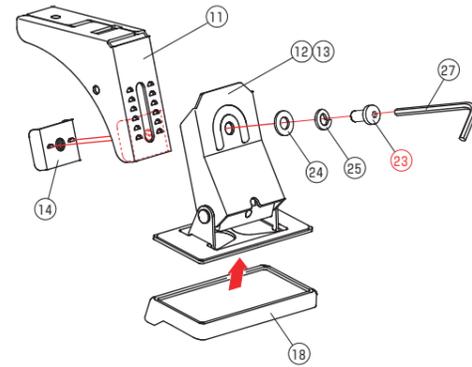
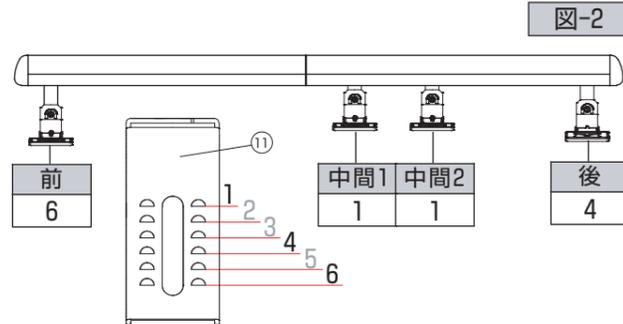


図-2



- 2 ⑧⑨脚フレームに⑲ナットプレートを通します。⑪脚ステーに⑮ステープレートの長穴の向きに注意してかませ、㉑キャップボルトセットM6にて下記寸法に従って仮組付けします。〔図-3・4〕
 ※車両に取付ける際に微調整を行う為、必ず仮組付けの状態にしてください。

図-3

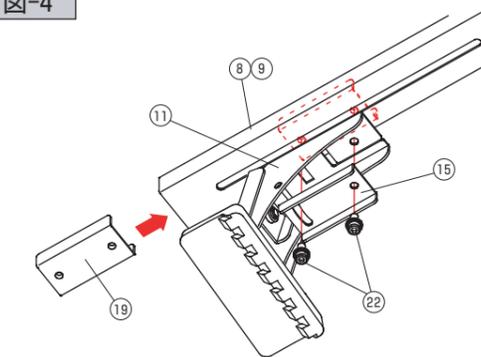
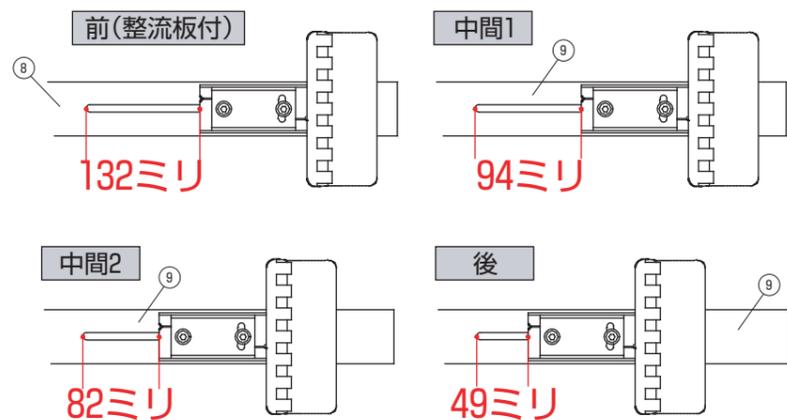


図-4



- 3 ①②サイドフレーム短(前/左右)に〔2〕で組立てた「前」用脚フレームセット(整流板付)と⑩荷台フレームを㉑六角ボルトセットM6で組付け、②サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から㉒タッピングビス5ミリで固定します。〔図-5〕
 この時、「前」脚フレームセット、を①②サイドフレームに差込む際は「整流板、が必ずパイプの「後、にある状態で差込んでください。〔図-5-A〕パイプの「前、に整流板があると高速走行時に「異音、が発生します。

図-5

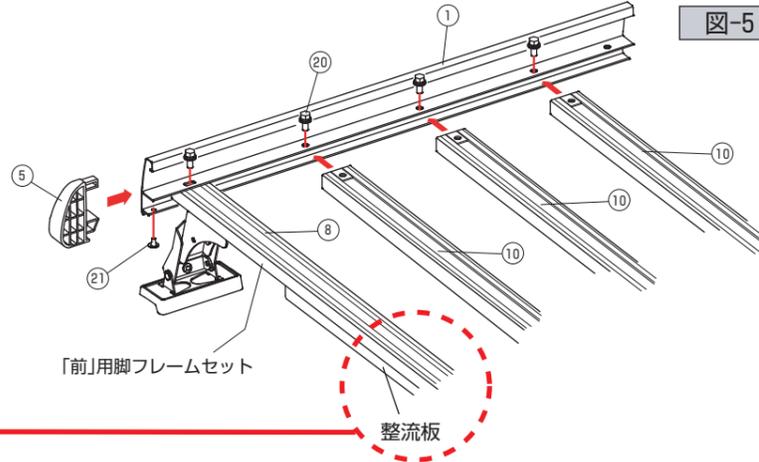


図-5-A 「前」用脚フレームセット

← キャリア方向(前)

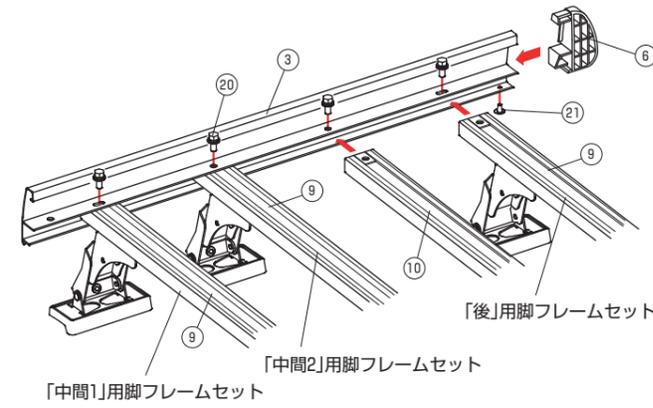
後

整流板

整流板は必ずパイプの「後、にしてください。

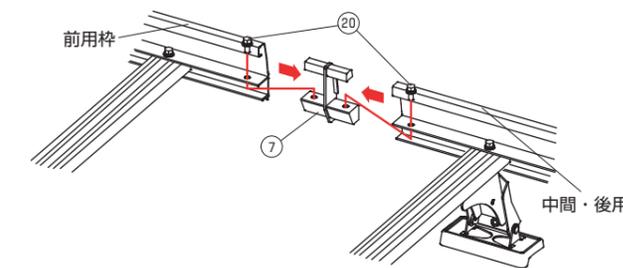
- 4 「3」同様に③④サイドフレーム長(後/左右)に〔2〕で組立てた「中間1」及び「中間2」、「後」用脚フレームセットと⑩荷台フレームを㉑六角ボルトセットM6で組付け、③④サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み、下から㉒タッピングビス5ミリで固定します。〔図-6〕

図-6



- 5 「3・4」で組立てた前枠用と中間・後用枠を⑦ジョイントにて繋ぎ合わせ、㉑六角ボルトセットM6でしっかりと固定します。〔図-7〕

図-7



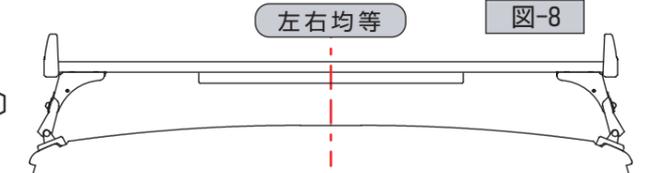
取付け方法①

このキャリアの取付けは、「後」の脚部はルーフに載せる設計です。

- 1 ルーフ面の埃や汚れをきれいに拭きとってください。キャリアをルーフの上に左右均等になるように仮載せします。〔図-8〕
 リアガラスの上部先端から前へ50ミリの所に〔中間2〕の脚セットの中心がくるように位置を合わせます。〔図-9-A〕

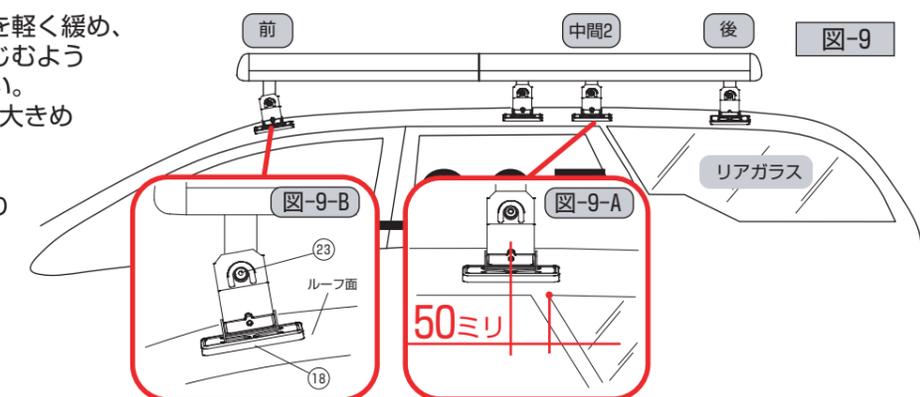
左右均等

図-8



- 2 各脚セットの⑳キャップボルトM8を軽く緩め、ルーフ面の傾斜に⑮ベースゴムがなじむように脚セットの角度を調整してください。(特に〔前〕はルーフの傾斜が急な為、大きめに角度を振ってなじませてください。〔図-9-B〕)角度調整が終わったら再度㉑キャップボルトM8をしっかり締付けます。

図-9



取付け方法②

- 3 ルーフの凸部と⑱ベースゴムに2ミリ程度の間隙が左右共にできるように微調整を行ってください。〔図-10-A〕調整後、組立て方法「2」で仮組付け状態の⑳キャップボルトセットM6をしっかりと締付けます。〔図-10〕〔後〕の㉑後用脚セットのみ、調整後㉒六角ボルトセットM6をしっかりと締付けます。〔図-11〕

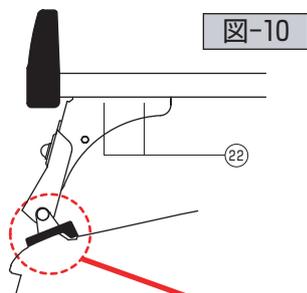


図-10

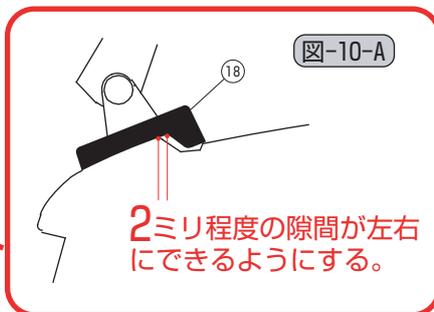


図-10-A

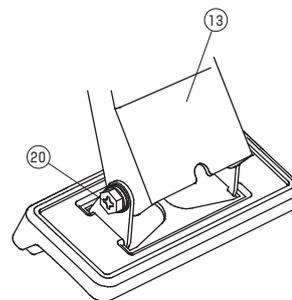


図-11

後用脚セット

- 4 ⑯前用取付フックは〔前〕の脚セットへ、⑰中間用取付フックは〔中間1〕〔中間2〕の脚セットへ、フック上端を脚セットに当てがい、〔A〕部を指で押さえながら6ヶ所均等にしっかりと締付けてください。〔3〕で2ミリ間隙をあけた状態が無くなりルーフに密着します。

△注意 〔後〕は屋根載せの為、フックでの固定ではありません。

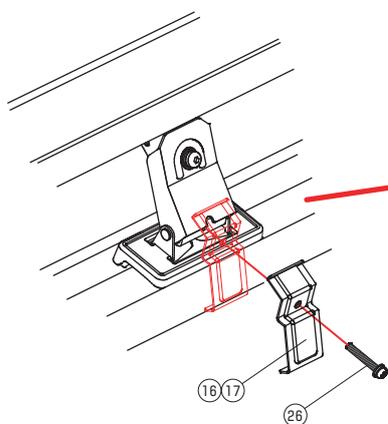


図-12

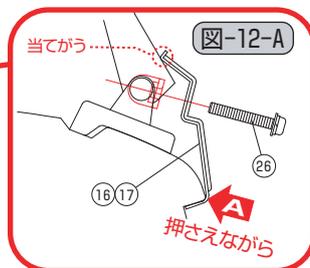


図-12-A

- 5 ⑧⑨脚フレームのスライド穴を㉓塩ビテープにて塞ぎます。スライド穴は⑪脚ステーをまたいで「内」と「外」に分割されますので、㉓塩ビテープをカットして「内」と「外」全てのスライド穴を確実に塞いでください。〔図-13〕

△注意 この作業を怠ると走行時に笛を吹いたような異音が発生します。また雨天や洗車時に水が浸入するためサビ発生の原因になります。

重要

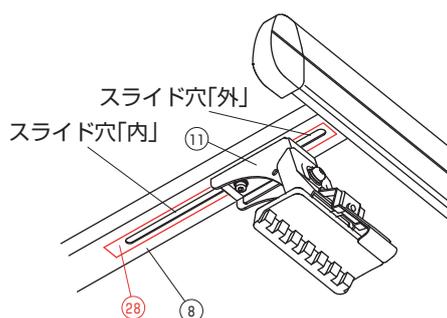


図-13

- 6 最後にキャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。